

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
古高松地区

平成21年3月

香川県高松市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	コミュニティセンターの利用者数	人/年	30,000	40,000	26,263	確定 見込み ●	×	あり なし ●	33,012	H20年6月	△	人材育成事業や情報発信に努めた結果、改善されたため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値には至らなかったが、H17に比べて1.5倍増になったため、十分な事業効果を確認できた。
指標2	自主防災組織の結成率	世帯(%)	1,709 (53.3%)	2,563 (80%)	2,909 (92.2%)	確定 見込み ●	○	あり なし	3,183 (100%)	H20年6月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自主防災活動とハード施設整備との相乗効果により、地域住民の防災意識が向上した結果である。
指標3	街頭犯罪の発件数	件/年	140	100	130	確定 見込み ●	△	あり なし ●	101	H20年6月	△	防犯活動の強化により、改善されたため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自主防犯活動とハード施設整備との相乗効果により、目標値には至らなかったが改善が見られた。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	古高松地区コミュニティ協議会による古高松コミュニティセンター利用件数(利用者数)	件/年 (人/年)	38(552)	/	41(719)	確定 見込み ●	/	/	52(940)	H20年6月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ハード施設整備により、地域住民のまちづくり活動に対する意識が向上した結果である。また、地域住民がセンターの整備構想を作成したこともまちづくり活動に対する意識向上に寄与している。
その他の数値指標2	不審者情報数	件/年	13	/	10	確定 見込み ●	/	/	6	H20年6月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自主防犯活動を通して地域住民の防犯意識が向上した結果が現れている。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	古高松コミュニティ協議会による持続的なまちづくり活動を支援する。	市が実施する人材養成事業や全協議会で構成する高松市コミュニティ協議会連合会の研究班に古高松地区を初めとした多くの協議会が参加し、事業計画作成方法等の講習を受けたり、人材の発掘・育成等について互いに研究したりした。また、協議会に補助金等を交付し、緊急時や災害時に関係機関と連携してひとり暮らし高齢者等を支える地域安心ネットワークを構築する等様々な事業を実施した。	古高松地区コミュニティ協議会が作成しているコミュニティプランが見直され、自主防犯活動をはじめとしたまちづくり活動に様々な工夫がみられた。	人材養成事業は協議会の要望を取り入れながら内容の充実に努めるとともに、補助金等の支援も継続する。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>・残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>・その他 必要な改善策</li> </ul>	ホームページおよび地域SNSを構築することにより、古高松コミュニティセンターにおける講座やイベント情報を積極的に発信する。	本市がH19に地域SNS「なんがでつきょんな」を構築し、インターネットを活用したコミュニケーションの活性化を図った。また、本市がホームページ「コミねっと高松」を構築し、協議会が地域の情報を積極的に発信することにより、協議会活動の活性化を図った。	協議会がインターネット上で積極的にコミュニティ活動およびセンターの情報を発信したことにより、地域住民がコミュニティ情報にふれる機会が増えた。	引き続き情報発信の機会を増やし、コミュニティセンター利用者の増加と活動内容の充実に努める。
	古高松地区コミュニティ協議会による防犯パトロールを実施する上において警察等関係機関との連携を強化することにより、効果の向上に努める。	青少年健全育成連絡協議会が中心となって登下校時の子どもを見守る「歩き人」について、連合自治会等の協力を得て増員を呼びかけた結果、新たに数十名が参加する等活動を強化している。	防犯パトロールの強化等の結果、街頭犯罪認知件数および不審者情報数が減少した。	古高松地区コミュニティ協議会を中心とした自主防犯活動に対する支援を継続する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
—	—	—	—